



平成24年度 No.4

一般社団法人

# 富山県作業療法士会 ニュース

第103号 平成24年2月7日

発行 富山県作業療法士会

会長 田村良子

印刷 (株) チューエツ

富山県作業療法士会ホームページ <http://toyama-ot.sakura.ne.jp>

富山県作業療法士会会員数：470人

## 「第13回 富山県作業療法学会 開催」

### 第13回 富山県作業療法学会を終えて

ケアポート庄川 松岡 暢

平成23年10月2日(日)、砺波市文化会館にて第13回富山県作業療法学会を開催しました。研修会や地区行事などが多くある時期の開催ではありませんでしたが、多くの方に参加して頂き心より感謝申し上げます。

「人そして生活を支える ～今、作業療法士にできること～」の今回のテーマには、作業療法士を志した時のことを今あらためて思い起こしてみたいという気持ちと、私達は作業療法の専門家であるとともに、一人の人間としても専門家であってほしいとの思いを込めました。

特別講演では、ものごた診療所所長の佐藤先生より「地域医療を支えるために ～物語的理解～」と題し、ご講演いただきました。高齢者の終末期、死という問題に関わっておられるお立場から、地域にはまだまだいろいろな人生・生活があることを教えて頂いたとともに、それらを支えるため作業療法士として何が出来るのかを考えさせられました。講演の最後に見せて頂いたある男性の「物語」映像に心打たれた方も多かったのではないのでしょうか。

午後からは、昨年好評であったアクティビティ教室を今回も開催し、多くの参加者がありました。地元ケーブルテレビ局の取材もあり、アクティビティ教室の様子も含めた学会の様子が後日放映されていました。また、演題発表では、日頃の取り組みや成果に対し活発な質疑がなされたことが印象に残りました。

さて、思えば砺波地区での県学会開催は第5回以来であったと思います。学会長をお受けしたのが1年前でした。ある先生より「自分の想いを形にすればいい」とアドバイスを頂いたのですが、さて、どうしたものかと不安ばかりが心の中を駆け巡っていた事を思い起こします。運営委員長の下田先生をはじめ運営委員の皆さんのご協力により、無事に県学会を終えることができた事を、心より感謝申し上げます。

### 第13回 富山県作業療法学会

#### 口述発表を終えて

富山市民病院 リハビリテーション科 佐々木和也

平成23年10月2日に第13回富山県作業療法学会が行われました。私はそこで、「肘頭脱臼骨折術後、機能改善に難渋した症例 ～認知運動療法の理論を用いた一考察～」と題して口述発表を行いました。

今回の発表は、前腕回内外の関節可動域が思うように改善しない症例に対して、自作の装具を作成し、その結果、機能改善に至ったという内容を想定して3月よりOTを実施してきました。主治医の指示、文献プロトコールに従って実施してきましたが、機能改善が不十分なまま5月に外来OTが終了することとなりました。自らの力量不足を感じながら、学会発表を断念しようと考えていました。すると、上司から「学会発表では、難渋例こそが皆が聞きたい発表だ、しっかり原因を考察して発表しないさい」と言われました。

症例は特異な機能不全が残存しており、その原因探求には難渋していました。ある時たまたま見つけた文献の中にそのヒントが掲載されており、そこからその学説に関する文献を調べ尽くしました。やっとの思いで考察をまとめ、締切りぎりぎりに抄録が完成し、無事本番を迎える事ができました。

今回、考察の参考にした理論は、私が実施してきたOTとは別の視点から治療手段を見出されており、大変参考となるものでした。もし、上司の言葉がなかったらここまで原因を探求し、症例について振り返ることもできなかったかもしれません。OT経過の中では、必ずしも満足のいく機能改善に至る例ばかりではありません。しっかりと経過を振り返り、新たな理論や技術を探求し、次への糧へとしなければならぬ事を改めて痛感させられた発表となりました。

### 「富山県の祭と民謡」を題材にした回想法

介護老人保健施設 葵の園・なんと 竹本隆広

当施設での回想法の取り組みについて簡単にご紹介させていただきます。

富山県の各地域に受け継がれている祭や民謡は全国的に見ても豊富でかつ活気や気品があり、そこに住む私たち、特に高齢者の方々には深く馴染みがあります。その為、当施設では主に「富山県の祭と民謡」を題材に回想法を行っています。

対象者は認知症の有無や程度に関わらず多くの利用者様に用いており、目的も共通の話題による初期の信頼関係の構築や回想を通しての自尊心の再獲得、口腔機能の維持など様々です。内容は利用者様の出身地により、例えば五箇山出身なら祭は「五箇山麦屋祭」、民謡は「麦屋節、こきりこ節、古代神」などを選んでいきます。道具は、祭に関連した写真（職員が現地でも撮影したものやインターネット上のもの）、祭の概要や民謡の歌詞を大きく印刷した用紙、民謡のCD、三味線などを必要に応じて使っています。実施は基本、談話で行い利用者様と楽しい時間を共に過ごすことができるように心掛けていま

す。自発語が乏しい重度の認知症の方を対象とした場合、談話は難しいですが、民謡は聴覚刺激やタッピングにより歌って下さることがあります。また、利用者様の中には語り部のように生き生きと当時の暮らしぶりや手柄話を話して下さい方、歌や舞を披露して下さい方もおられ、話題を提供した職員側が新たに富山の伝統文化を知ったり、それまでに観られなかった利用者様のその人らしさに気付いたりと学ばせて頂くことも多くあります。

更に、利用者様との直接の関わりだけでなく、馴染みのあるBGMとして民謡のCDをリハビリ室や食堂で流したり、祭の写真を飾ったりすることで回想を間接的に促す方法もとることができます。祭や民謡の空気に心が動き、利用者様方の中で手拍子や歌、舞が始まることもあり、その空間からは伝統文化で結ばれた人々の縁とエネルギーを感じられます。

こうした他のActivityとは一味違った回想法の魅力を感じつつ、職員も楽しみながら提供させて頂いています。



写真：五箇山の風景（相倉合掌集落）と五箇山民謡

2011年11月19日(土)～20日(日)の日程で、JR福井駅前のAOSSA（アオッサ）にて開催された。JR福井駅及び駅前周辺は再開発を終え、見違えたついでに迷ってしまいました。アーケードが残る、昔ながらの飲食店街が少しだけ残っていて、ホッとしました。

学会テーマは「OTが誕生して半世紀 これからの歩む道を探る」で、学会長は福井県立病院五十嵐市世先生でした。プログラムは、市民公開講座を和光市保健福祉部長寿あんしん課課長（旧厚生労働省老健局 介護サービス調整官）東内京一氏に「地域包括ケアシステム構築下における作業療法士のあり方を考える」で行政からの視点で、これからの作業療法士に求められるあり方を示されました。

また、特別講演として協会常務理事の土井勝幸氏に「作業が人を元気にする!!これからの作業療法と協会方針」とし、これまでの協会活動をふまえ、

平成24年度の制度改定のキーワードとなる「地域包括ケアシステム構築」にむけ情報の共有を行う機会となりました。教育セミナーは5セッション有り、どの会場も盛況でした。しかしながら、もう少し技術系のセッションがあれば新人OT達にも良かったのではないかとともに思いました。

私は、参加者の顔がよく見える・主催県の個性が反映される「東海北陸学会」が好きですが、前々回の石川学会、前回の愛知学会とも参加者数が低調でした。今回の福井学会も2日目の昼で430余名の参加者でした。2日目に開催された連絡協議会東海北陸支部長会では、低調な原因を考え（PR不足？聞きたいセミナーが無い？日程？等々）、今後のあり方を次回の静岡学会で再検討されることとなりました。

2013年は富山での開催です。運営だけでなく、演題発表もお願い致します。

### 開業奮闘記(その7-待望の第一号利用依頼)

リハビリ・デイサービスおやべ 管理者 北野 満

4月に入り数名の応募のあった介護福祉士の方の面接を行い、うち2名の意欲ある20歳代の女性を正社員として採用した。1週間後に私を含め3人で居酒屋にて乾杯したが、一人はおっさんキャラ、もう一人は幼児キャラと正反対の面白い組み合わせであった。リハビリスタッフ（OT2名）とも別にファミレスなどで打ち合わせを重ねていたが、私以外個性的なメンバーに期待と??を感じていた。

その頃同時に施設指定申請と助成金の書類の作成に入ったが50枚以上の量に徹夜続きで、今思い返してももっとも苦しい時期であったように思われる。

図面の作製も順調にいき、備品の決定から電話の開通、トイレ、エアコン、床などの内装も仕上がりが少しずつ気分の高鳴りを感じてきた。

4月下旬より小矢部市、砺波市、高岡市と順次営業活動も開始し、特に小矢部市は3月にほとん

どのケアマネに根回しと同時に経営の可否等を聞いて回っていたので好意的に受け入れてもらった印象があった。そしてオープン1ヶ月以上前にして市内の同級生のケアマネより第一号の利用依頼とサービス担当者会議に出席した。何も分からないままの出席であったが担当のケアマネが同級生ということであまりリードしてもらい初体験を無事終えた。

そして申請書類も完成して県に提出し、パワーリハビリマシンなど機器も搬入していきゴールデンウィークに入った。まだ指定申請や現地調査も通ってなく、そして連休前に県の高齢福祉課の担当者から重要事項説明書と利用約款の書類を追加するように指導が入った。重要事項とは？利用約款とは？

世間知らずの無知ぶりを思い知らされた…つかの間の休息であった…

## Medical Center of Central Georgia (MCCG) の視察研修

黒部市民病院 小倉 努

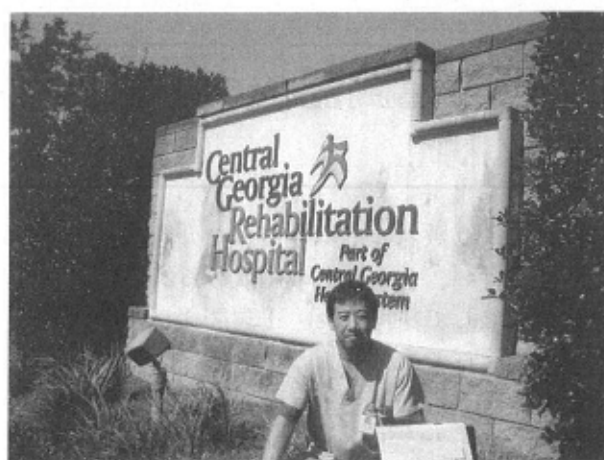
昨年、MCCG元職員のアリソン・J・ハークス OTR/L が1年間来院され、今年4月に帰国されました。当院では5年前から米国研修制度に取り組んでおり、今回、これを機にGeorgia州Macon市にあるMCCGへ研修に行くことになりました。

研修は1週間でしたが、①MCCG main hospitalの急性期リハ、②同敷地内にあるMCCG out patient centerでの外来リハ、③MCCG郊外にあるrehab. hospitalでの回復期リハ、④Academy for the Blindでの視覚障害者施設の見学、などハークス氏の調整や支援をいただき多くの視察研修を行うことができました。

その中でも、今回は回復期リハを展開するMC rehab.hospitalの様子をお話したいと思います。この施設は、MCCGからの急性期患者の転院先となるリハ病院で、脳卒中を例にとると、発症2～4W経過で転院されてきます。なお、国民健康保険のないアメリカでは（Medicare,Medicadeといった最低限の医療保障はありますが）、個人保険契約内容の如何により受療可能な医療サービス範囲が異なります。なので、転院を希望する方全てが受け入れられるシステムではありません（リハビリを受けられない方も存在します）。リハ病院は総平屋建てで敷地面積が非常に広く、中庭・プール・外来リハ室etc.も備えられていました。病室は全て1、2人部屋で、アメリカのライフスタイルに合わせた構造になっており（当然ですが）、各部屋にはバスタブの無いシャワー室が設置されていました。居住空間確保の為にテレビは壁掛け薄型となっていたり、患者毎に毎日のスケジュールが一目でわかるよう日程ボードが設置されてい

たり、数々の工夫が見て取れました。リハは1日2回提供されており、PT・OT室の隔てがなく入院リハ室で実施されていましたが、非常に多くの方が車椅子に乗ってリハ室で待機されていました。待機中の様子は、さすがに発症2～4Wの方らしいというか、発症後経過日数に相応する表情でした。これからリハが進むことで様々な改善が観られるのであろうとの期待が見てとれました。リハ内容は個別が基本で、訓練器具・杖や歩行器、自助具などがこれでもかと言うくらい多種多数揃えられていたのが印象的でした。他にも紹介したいものはありますが、紙面の都合上これくらいにさせていただきます。尻切れトンボですみません。

視察を通しての発見はいろいろありましたが、僕的には日本と異なる医療システムに関心が沸きました。米国の医療システムでは、リハ・サービス内容を絞る必要性があり優先性が生じます。その根拠や理由をどう考え判断しているのか？これをもう少し知りたいなと感じました。



### 会員異動等

種類	氏名	旧所属	新(現)所属	備考
異動	松木 菜実	呉陽病院	自宅	
退会	金田 千穂	国立病院機構 北陸病院	自宅	
異動・改姓	金岡 愛美	自宅	介護老人保健施設ケアホーム陽風の里	旧姓 八木
異動	橋爪 佳美	山田温泉病院	介護老人福祉施設チューリップ苑	
退会	菅田 真奈美	介護保険施設サンセリテ	県外	
異動	柳原理恵	南富山中川病院	自宅	

## 平成23年度 第7回理事会議事録

場所：富山医療福祉専門学校

日時：23年11月14日(月)19:00～

参加者：田村、作田、松岡、田邊、橋爪、高林、  
広野、谷口、吉波

以下のことについて検討し、承認された。

### 〈検討事項〉

- 24年度各部会・委員会事業計画について
  - ・ 学術部：各部会の研修日程が10月に集中しているため全体会で調整
  - ・ 教育部：現職者研修会を7月に土、日の2日間開催→日曜日と平日午後2回実施へ
  - ・ 地域リハビリテーション部会：富山県訪問リハ研修会の運営協力をする
  - ・ 発達部会：小中学校への訪問支援の実施
  - ・ 福利厚生部：例年の新年会の参加者は20名程度であり、県士会員の親睦を図る目的が叶えられる方法を全体会でも意見を聞き検討する。
  - ・ 普及指導部：高校生の見学会に加え作業療法体験会を8月下旬に2か所で開催する。
  - ・ 調査部：調査内容については各部会、理事会等で論議されるようにする。
- 富山県リハビリテーション協議会（仮）への参加について  
年2回（春・秋）に開催し、理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会共通の課題の検討や「喀痰・吸引」など共通の研修について企画する。各士会の三役が出席。
- 賛助会員を増やす取組  
賛助会員は現在5名で、不況の折減少傾向にある。メリットを明確にし、会員から所属施設に依頼ができるか、全体会で意見を聞く。

### 〈報告事項〉

- 平成25年東海北陸OT学会学会長砂原氏  
（高志リハビリテーション病院）
  - ・ 構想委員会を設け内容を検討している。その中から実行委員会を作っていく。
  - ・ 委員－小倉氏（黒部市民病院）、広野氏（富山労災病院）、桐山氏（高志リハビリテーション病院）、中沢氏（富山労災病院）、磯部氏（川田病院）
  - ・ 県士会員は運営だけに携わるのではなく発表

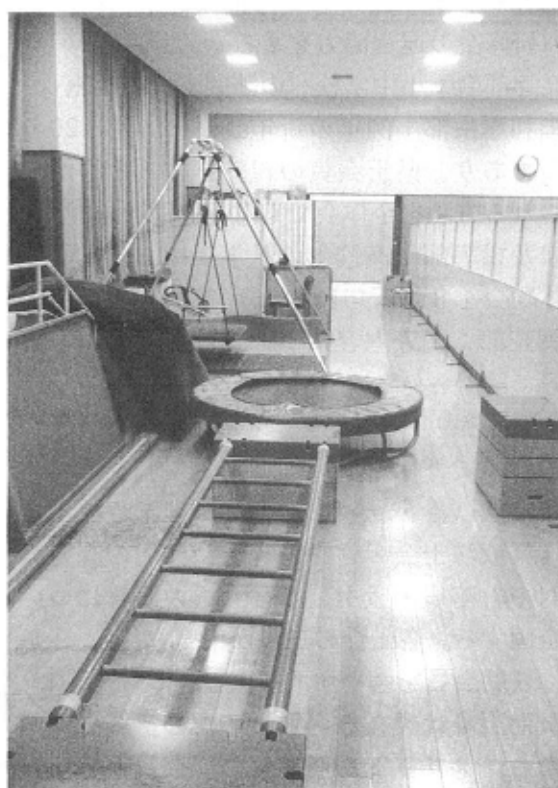
する場になるよう、事前に研究・発表法についての研修会を行う。

- 平成24年度県OT学会－富山北地区担当
  - ・ 学会長：舘氏（富山赤十字病院）実行委員長
  - ・ 丸本氏（谷野呉山病院）
  - ・ 平成25年2月開催予定
- 訪問リハ研究会三士会打ち合わせ  
11月11日
  - ・ 三士会が事業を協賛する形で独立組織し、その立場で会則を作り直す。
  - ・ 事業計画、事業報告を提出してもらい運営の援助金としてPT士会2万5千円、OT士会2万円、ST士会1万円を出す。
- 高志リハビリ病院整備検討委員会委員  
－田村会長 委員会 11月～25年3月まで
- 代議員推薦候補－推薦書、承諾書の提出  
高岡、作田、広野氏
- 富山県医療推進協議会（会長－富山県医師会会長 岩城氏）より協議会開催案内  
11月17日午後2時から  
受診時定額負担制度の導入について  
→欠席の返事
- 第13回富山県作業療法学会事業実施報告  
10月2日(日) 砺波市文化会館  
テーマ「人 そして生活を支える」  
～今、作業療法士にできること～  
参加者数：170名  
（会員158、県外OT7、学生3、一般2）  
特別講演：  
「地域医療を支えるために  
～物語的理解～」  
講師：ものがたり診療所  
所長 佐藤伸彦先生  
演題数：11題 アクティビティ教室開催
- 都道府県作業療法士連絡協議会  
東海北陸支部会  
リーダー養成研修会（地域組織強化）を24年度に開催
- 長野県作業療法士会設立30周年に対し祝電

当学園は高岡市民病院の近くで、住宅と田んぼに囲まれた静かな場所にあります。平成11年に心身に発達上の問題をもつ子どもの早期発見・早期療育を目的とする「心身障害児総合通園センター」として開設しました。外来部門、通園部門、地域サービス事業があり、外来部門は0歳から18歳までを対象に、診察、訓練（理学療法、作業療法、言語聴覚療法）を行っています。通園部門は肢体不自由児部門と知的障害児部門があり、0歳から6歳までの未就学の子どもたちが、医療と保育の両面から総合的な療育を受けるために通園しています。地域サービス事業では、児童デイサービス、巡回指導、重症心身障害者通園事業を行っています。その中で、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、介護士などが働いており、医療と保育が連携して、一人ひとりに応じた適切な療育を総合的に行い、身体機能の維持向上や基本的な生活習慣、社会性の確立などを目指しています。

現在、作業療法士は3名で、外来と通園で作業療法が必要だと医師が判断した子どもたちを対象に行っています。対象となる疾患は、脳性麻痺、精神発達遅滞、自閉症、軽度発達障害などで、遊びを中心とした作業活動を通して、運動機能、日常生活動作、学習基礎能力、社会性

の発達を促しています。また、対象となる子どもは、様々な訓練や保育を受けていることが多く、他職種との連携も大切にしています。特に当学園は、名前でもある職員同士の“きずな”が強く、職種を超えて相談し合える関係にあります。これからも、子どもとの“きずな”、保護者との“きずな”を大切に、子どもたちの笑顔を糧に、日々頑張っていきたいと思っています。



## アルド・チャバリア リハビリテーション病院より（第2報）

中米 ニカラグラ共和国 マナグア市在住 早川 俊秀

私は富山県高志リハビリテーション病院を約28年間勤務し、2010年の12月に退職し、JICAのシニアボランティアとして、現在、中米はニカラグラ共和国にきています。

第一報で、見るもの聞くものすべてにカルチャーショックを受け、その思いを引きずりながら、原稿を書きました。私を知らない人が読むと何のことやらさっぱりわからない原稿だったと思います。

当リハビリ病院はニカラグラ唯一の国立のリハビリ病院（80床）です。ですから入院患者さんは全国から来ます。でも外来は首都のマナグア市内から来る方が多いですね。国立と言っても経費の大半を外国からの寄付で賄っている状態です。①車いす・ベッドなど規格はバラバラです。ですから患者サイズが合わず、一番大事なベッドサイド環境の整備ができていません。病室は6床ですが、ベッド同志カーテンの仕切りはなくプライバシーはないですね。ベッド柵もありません。②病棟と訓練施設とは屋根付きコンクリート廊下・一部青空で繋がっているのですが、廊下が穴だらけ、車いすのすれ違いができない狭さです。（補修しようにも予算が十分にありません。）③訓練室（ここでは作業療法をTOといいます。）では2人の作業療法士がいます。1人が私のコントラバルテで管理面と入院患者を担当しています。もう一人が外来担当をしています。因みに理学療法士は27人います。TO職員の少なさから、入院患者も外来患者も週に2回、3回の頻度の訓練です。急性期病院からは約2か月から3か月经過で入院してきます。このような状態では大きな改善は難しいですね。（理学療法の学校はあり、スタッフは年々増加していますが、作業療法の学科は現在なく、これ以上スタッフの増加はしません。以前TO学科を卒業した人は40人ほどいました

が、国外に流出して、国内にいるTOは5人程度と聞いています。それに私のカウンターパートは会議出席が多く、折角の入院患者も後まわしのことも…。でその実態は入・外患者とも評価をせずにいきなり、診断名と障害名から訓練項目を決めていることもわかりました。訓練器具を使い上肢の機能訓練を中心に訓練していません。訓練出席簿はありますが、訓練記録をしていない状況です。

とういうことで、日本のリハビリ事情と比較すると、とんでもない状況ですが、ここ数ヶ月かけて、その状況の理解に努めてきました。結論は、日本の状況をそのまま伝授しても全く意味がないことがわかりました。家、地域に帰ってもインフラ整備ができていない。家では家政婦あるいは家族が多いこともあり、介助されるのが当たり前の生活。訓練について、たとえば利き手交換の訓練の必要性：食事ではスプーン使用。時に手で食べる習慣があります。書字についてはサインができることが大事です。私は全く読めませんが、同じ形が再生できればOKです。ADL訓練は重要：でも、車いす障害者になると就労が非常に難しい社会状況である。身支度の必要性が薄くなる。障害者には介助が当たり前の世界です。少々金銭的に恵まれている人は家政婦を雇ってしまう。それに病院のベッドサイド環境が整っていないので訓練できない状況にあります。家事動作訓練の必要性：主婦層の患者が多いが、大半の患者は家政婦を持っており、自分からあえて、もともと家事をする必要がない人も多いです。リハビリ病院に来ることができる患者とは：急性期病院から紹介状を持ってくることになっています、その必要性から低所得者には入院や外来患者として病院に来ない状況にあると思われれます。

リハビリテーションの捉え方はイコール理学

療法であり、作業療法は理学療法の一部の療法として捉えられています。で、現在、身体機能回復訓練として（特に上肢機能）器具を使い、繰り返し操作練習することで機能を回復させるものです。（大昔の日本のOTもそういう時代がありましたね。）病院の隣は精神科の施設ですが、当然OTはいません。

実態を理解するにつけ、改善に向けて進めていくことにはかなりのハードルがあることがわかってきました。でも私の使命はリハビリシステムの改善をしてゆくことにあるわけで、後1年かけて内容を変えてゆきたいと思っています。

さて、私の生活面です。最近、生活面は大分慣れてきたので何を報告すれば面白いかわからなくなりました。今の住まいはマナグア市内の中でも中心街に住んでいます。買い物は不自由ないですが、いつも犯罪（ひったくりなど）に気を配りながらは疲れるものがあります。同期隊員はひったくりに会っています。食事面はニカラグラJICA事務所、ニカラグラ日本大使館などで食事会があり、出席しているので、日本食は十分に食べられます。ニカラグラのメインの食事はご飯と小豆煮です。フルーツは必ず出ます。魚類はほとんどないですね。肉類は何でもありますが、日本に比べるととても固く骨付きです。ほかに韓国料理店、中国料理店、台湾料理店などいろいろあります。

トピックスはこの間、この国の大統領選挙（住民投票）がありました。日本と同じ学校な

どが投票所となります。一ヵ月かけて中間報告があり、来年1月中旬ごろに就任演説があります。引き続きオルテガ大統領の公算が高いです。選挙活動は大学生が大活躍です。日本でいう選挙違反は当然行われています。病院では院長をはじめほとんどの職員は同じTシャツを着て、堂々と訓練室にもポスターが張ってあります。

12月中旬ごろから全国的にクリスマス休暇となります。患者さんは家に帰り、家族とゆっくりと過ごすといういかにも名目はいいものです。今の日本ではリハビリ患者は1週間や2週間の連続休暇はありえないですね。それからまだまだ職員中心の訓練のありかたです。病院行事があるゆえの訓練中止もあります。それから宗教上の休暇もあります。まだまだリハビリ効果よりも宗教行事をととても大事にするという国だと思います。

この国の習慣に従ってクリスマス休暇を有効に使い、今年は隣国のコスタリカ、パナマに向けて旅行の計画中です。このボランティア体験がなければ、決して訪れることのない国をどんどん訪れ見聞を広めたいと思っています。日本の良さ・悪さをあらためて実感できればと思います。

（日本のOTの皆さんにこの報告が届くのは2012年の1月ごろだと思います。私の任期は2013年の3月までです。第3報を出す頃は私のミッションが成功に向かって進んでいることの報告ができればと考えています。）





# Toyama

Prosthetics & Orthotics Service

<http://www.tpo-morita.com>



## 【営業品目】

義手・義足・補装具等 製作修理

オーダーメイド靴 製作

車椅子・スローマ・補聴器

福祉用具貸与販売

あの日の、音風景がよみがえる感動補聴器

## Oticon | Agil

アジャイル



## (株)富山県義肢製作所 富山県補聴器センター

〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16

TEL (076) 425-4279

FAX (076) 425-4587

E-mail t-gishi@cronos.ocn.ne.jp

## 手芸・毛糸の店

- |         |                            |
|---------|----------------------------|
| ○手芸糸    | ハマナカ                       |
| ○刺し子    | オリムパス、ナスカ                  |
| ○ビーズ手芸  | トーホー、ミュキ                   |
| ○マクラメ糸  | ダルマ、川端                     |
| ○ちりめん手芸 | 東芸                         |
| ○その他    | S.M、M.B他<br>各手芸材料取り扱っています。 |



ボタン・手芸・毛糸



# スギマサ

〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9

TEL (076) 421-3444

FAX (076) 421-4334

## 介護保険対応! ベッド・車椅子・レンタル!

- 車椅子  
→ 480円より  
ベッド  
→ 700円より

リースナバル



株式会社 **ウィル**

TEL (0766) **56-7099**

FAX 56-3395



## OTを取り巻く状況

田村良子

OT協会より平成23年度老人保健健康増進等事業「生活行為向上マネジメントの普及啓発と成果測定研究事業」についての説明会の案内が来ました。この「生活行為向上マネジメント」について皆さんはご存知でしょうか？

協会は、平成20年度の厚生労働省委託研究事業の受託において、高齢者の介護予防を推進するためには、「高齢者が自ら積極的に日常の活動に参加し、生きがいを感じる作業に出会うことが重要」と提案した。厚生労働省からも、「運動機能、口腔機能向上、栄養改善だけではなく、アクティビティを高める支援こそが大切」「OTがリーダーとなって介護サービス従事者や地域包括支援センター職員への研修や住民に対して啓発活動を行い、OTの機能を周知させることも大切」との助言を受け研究事業を開始した。その人にとって意味のある作業を聞き取る「作業聞き取りシート」、聞き取った生活行為の遂行を阻害している要因を明らかにする「作業遂行アセスメント表」、「生活行為向上プラン表」、さらに「作業をすることで元気になれる申し送り表」を作成しその効果を検証した。

今回この研究事業を紹介するのは、この取り組みが介護予防という領域の話ではなく、「作業療法の仕事とは何か」を示すものだからです。「人間は作業をする生き物、作業をすることによって成長する」「なんらかの原因でその作業ができなくなった人たちを、作業ができるようにする」のが作業療法ではないか。是非、協会ホームページにてこの取り組みの詳細を学んでいただきたい。24年度の調査部の事業では、地域包括支援センターへのOTの需要について調査をすることになっている。「生活行為向上マネジメント」の実践を示しながらの調査が必要と思われる。

また、東日本大震災や福島原発事故により作業生活が奪われている人たちへの支援を忘れてはならない。雪の季節になり北陸からのOTボランティアが望まれている。いろいろあった2011年も終わり新しい年を迎えました。

## 賛助会員名簿

(順不同)

会員名(代表者)	住所	備考
温泉リハビリテーション いま泉病院 (理事長 大西仙泰)	〒939-8075 富山市今泉2 2 0 TEL.076-425-1166	
㈱ウイル (代表取締役 山口裕二)	〒939-0311 射水市黒河3075 TEL.0766-56-7099	
酒井医療㈱ 金沢出張所 (所長 小木章)	〒920-0053 金沢市若宮町156街区9-1 TEL.076-223-4420	
平野重喜	〒930-0008 富山市神通本町2-3-7 TEL.076-432-6617	(有) クラフト 工房
富山医療福祉専門学校 (学校長 辻 政彦)	〒936-0023 滑川市柳原149-9 TEL.076-476-0001	
(有)スギマサ洋装店 (代表取締役 杉政正規)	〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9 TEL.076-421-3444	

## 編集後記

思い返すと去年は暗いニュースが多かった中、毎年注目される「今年の漢字」は「絆」が選ばれました。私はそのニュースを聞いて少しほっとしたのですが、この「絆」という漢字のことを調べてみると、原義では「動物をしぼる綱」から、「束縛するもの」というネガティブな意味があるそうです。今では良いイメージで使われることが多い「絆」ですが、自由を奪って身動きが取れなくなるような「絆」は結ばないようにしたいものです。

C.K